

情 報

1 学習指導と評価の改善・充実

近年、社会における情報化は想像を超える規模、速度で進展している。様々な情報が世界的規模で交換される高度情報通信社会を迎え、情報や通信に関わる産業も急速に拡大していることから、高度な情報関連技術者の育成や新たな産業領域の形成に役立つ人材の育成が重要な課題となっている。

こうした人材の育成に対する要請に応えるためには、情報の活用、情報や通信に関する各分野に興味・関心を持つ生徒に、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を駆使した実習を通して、情報を活用するために必要な基礎的、基本的な知識や技術を習得させるとともに、指導と評価の一体化を進めるなどして、指導内容や方法の改善・充実を図ることが大切である。

平成15年度から4年間の「高等学校教育課程編成・実施の手引」においては、学習指導と評価の改善・充実を図るため、シラバス、評価計画、評価手段の具体例などを示してきたが、本年度においては、キャリア教育の視点から育成する能力を明確にした、「指導と評価の計画」と「学習指導案」の例を示す。

2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

～ 情報活用能力をはぐくむ学習指導の改善・充実～

(1) 科目「情報と表現」における情報活用能力の育成

科目「情報と表現」においては、自発的な活動やコンピュータを活用した実習などの体験を通して、表現力の伸張や情報を適切に表現する能力と態度の育成を図るとともに、情報を表現、伝達する場面としてコミュニケーションやプレゼンテーションを取り上げ、基本的な技法を習得させるほか、プレゼンテーションツールとしての情報機器やアプリケーションソフトウェアを活用することによって、情報を効果的に表現、伝達することができる能力と態度を育てることが大切である。

(2) 科目「情報と表現」の学習指導と観点別評価の具体例

ア 指導と評価の計画の具体例

【指導と評価の計画】

大単元	情報発信の基礎	小単元	プレゼンテーションの基礎
ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
プレゼンテーションの意義や必要性について、関心を持ち、情報発信するために必要なプレゼンテーションの技法等の習得に意欲的に取り組もうとする。	/	情報を伝える場面や伝える相手等に応じて、プレゼンテーションソフトウェアなどを使って、伝えたい内容を適切に表現している。	情報の収集方法に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、適切にプレゼンテーションを行うための知識を身に付けている。

配 当 時 間	学 習 内 容	評 価 規 準 と の 関 連				評 価 の 方 法	キ ャ リ ア 教 育 の 視 点 (育 成 し た い 能 力)
		ア	イ	ウ	エ		
1 時 間	1 プレゼンテーションの意義と必要性 (1) プレゼンテーションの意義と必要性 ・プレゼンテーションの意義や必要性について学習する。 (2) プレゼンテーションの各段階 ・プレゼンテーションの基本構造や手順について学習する。					行動観察 ワークシート	人間関係形成能力 (コミュニケーション能力) ・自己の考えを適切に相手に伝える。
2 時 間	2 プレゼンテーションの準備 (1) プレゼンテーションの全体の流れ ・プレゼンテーションの準備の手順について学習する。 (2) プレゼンテーションのための情報収集 ・プレゼンテーションの流れを決定するために必要な情報収集の技法について体験的に学習する。 (3) プレゼンテーションの内容の立案 ・プレゼンテーションの構成や流れの作成について学習する。					行動観察 ワークシート	将来設計能力(計画実行能力) ・自己PRを題材としたプレゼンテーションの準備を通して、目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、進路希望の実現に向けて努力する。 情報活用能力(情報収集・探索能力) ・プレゼンテーションの準備において、進路や職業に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく。 人間関係形成能力(自他の理解能力) ・プレゼンテーションの準備において、自己理解を深めるとともに、他者の考えを理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく。
2 時 間	3 プレゼンテーションの技法 (1) プレゼンテーションの要点 ・効果的なプレゼンテーションを行うための話し方、態度、服装、発問や応答などについて学習する。 (2) プレゼンテーションツールの選択 ・プレゼンテーションの内容や方法等に応じて、プレゼンテーションツールを適切に選択する方法などについて体験的に学習する。					行動観察 テスト ワークシート	人間関係形成能力(コミュニケーション能力) ・プレゼンテーションの実施を通して、自己の考えを伝えるとともに、他者の考えを理解する。 情報活用能力(職業理解能力) ・会社調べを通して、企業には様々な業種や職種があることを理解する。

イ 学習指導案の例

学 習 指 導 案

教科・科目名	教科：情報(専門) 科目：情報と表現	教科担任	
授業日時	平成 年 月 日() ・ 校時	対象・場所	年 組(名)・パソコン教室
単 元	プレゼンテーションの基礎(5時間)		
指 導 計 画	1 プレゼンテーションの意義と必要性 2 プレゼンテーションの準備(本時) 3 プレゼンテーションの技法	1時間 2時間 2時間	
本時の目標	就職試験の自己PRを題材として、適切に情報を収集するとともに、プレゼンテーションの目的を踏まえて、プレゼンテーションの流れを作成する方法を習得する。		
育成したい能力	将来設計能力(計画実行能力) 人間関係形成能力(自他の理解能力) 情報活用能力(情報収集・探索能力)		

順序	時間	学習内容と教師の活動	生徒の活動	評価
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を確認する。 ・ワークシートを配布する。 ・プレゼンテーションの利点について復習し、整理する。【ワークシートの1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入する。 	【関心・意欲・態度】
展開	40分	<p>(1) プレゼンテーションの全体の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己PRの効果的な方法について発問する。 ・プレゼンテーションを行う場面をどのようなときに見たことがあるか発問する。 ・準備から発表までの全体の流れ（内容の決定、資料収集、リハーサル、発表など）を説明する。 <p style="text-align: center;">将来設計能力 (計画実行能力)</p> <p>(2) プレゼンテーションのための情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集方法と、その長所・短所を考えさせる。【ワークシートの2】 ・ワークシート内の「場面設定シート」の記述内容について説明し、就職試験についての場面設定を考えさせる。【ワークシートの3】 ・検索エンジン（ロボット型、ディレクトリ型）について説明する。 ・インターネットを利用して入社を希望している会社の業務内容等の情報の収集方法について説明する。【ワークシートの3の(1)】 <p style="text-align: center;">情報活用能力 (情報収集・探索能力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発問に対して発言する。 ・発問に対して発言する。 ・ワークシートに記入する。 ・インターネットを利用して情報を収集する。 ・ワークシートに記入する。（「会社検索シート」） 	<p>自己PRの実施に向けて、積極的に情報を収集しようとする。</p> <p>【技能・表現】</p> <p>インターネットを利用して情報を収集するとともに、自己をPRするためのプレゼンテーションの流れを作成することができる。</p>
	40分	<p>(3) プレゼンテーションの内容の立案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート内の「プレゼンテーション計画シート」の構成（序論・本論・結論）について、項目、内容、留意事項の例を示しながら説明する。【ワークシートの3の(2)】 ・隣席の生徒と「プレゼンテーション計画シート」を交換させ、効果的にプレゼンテーションを行うことができる流れとなっているかについて、互いに意見交換させる。 ・準備資料（スライド、配付資料、読み上げ原稿など）を作成する際の留意点（視覚化、要点の整理など）について説明する。 ・リハーサルの重要性とチェックすべき項目（時間配分、話し方、服装、態度など）について考えさせる。 <p style="text-align: center;">情報活用能力 (情報収集・探索能力)</p> <p style="text-align: center;">人間関係形成能力 (自他の理解能力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入する。（「プレゼンテーション計画シート」） ・隣席の生徒と作成した「プレゼンテーション計画シート」の記述内容について意見交換する。 ・「プレゼンテーション計画シート」の内容を改善し、完成させる。 ・作成した「プレゼンテーション計画シート」をもとにリハーサルのために必要なチェック項目についてノートに整理する。 	【知識・理解】
まとめ	10分	<p>学習内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの準備の流れについて確認するとともに、リハーサルについてポイントを整理する。 <p>次回の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを提出する。 	
準備教材		ワークシート（「場面設定シート」・「会社検索シート」・「プレゼンテーション計画シート」など）		

ウ ワークシートの例

学年 クラス 出席番号 氏名

- 1 プレゼンテーションを行うことの利点についてまとめてみよう。 【知識・理解】

内容を正確に伝えることができる。
企画や考えを分かりやすく提案できる。
事実や考えをはっきり示すことができる。

- 2 情報の収集方法とその長所・短所についてまとめてみよう。 【知識・理解】

収集方法	長所・短所
新聞・雑誌 インターネット 文献	新しい出来事を知ることができる。特定の視点からの情報が多い。 情報量が多い。信頼性のある評価がしにくい。 情報が整理されている。図書館等へ行く必要がある。

- 3 あなたが受験を考えている会社に対して自己PRを行うことを想定し、次の「場面設定シート」をもとに「会社検索シート」及び「プレゼンテーション計画シート」を完成させよう。
場面設定シート

形 式	提案 発表 報告
日 時	2007年9月18日(火) 14:00
目 的	就職試験を受験するための自己PR用プレゼンテーションを作成する。
聞 き 手	会社人事課
発表方法	プロジェクタを使用してPRする。
使用ツール	Openoffice Impress
発表会場	会社 第1面接室
発表時間	5分

- (1) 「会社検索シート」を作成してみよう。 【技能・表現】

会社検索シート

会社の所在地	
設立時期	
代表者名	
資本金	
事業内容	
福利厚生	
その他	

- (2) 「プレゼンテーション計画シート」を作成してみよう。 【技能・表現】

プレゼンテーション計画シート

構成	項目	内 容	留意事項
序論 (1)分	始めの挨拶	氏名・学校名を説明	正確に伝える。
本論 (3)分	プロフィール クラブ活動 資格取得 生徒会活動	趣味・特技：パソコン・釣り 長所・短所：温厚 サッカー部 初級システムアドミニストレータ 生徒会長	落ち着いて分かりやすく伝える。
結論 (1)分	将来の夢 御社を選んだ理由 終わりの挨拶	社会に貢献できるシステムエンジニア 自己実現可能な職場環境 要点の整理	強調して伝える。